

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 新生児の痛み・苦痛を客観定量する簡便なモニタリング法の確立
2. 研究代表者： 岩田 欧介（名古屋市立大学 大学院医学研究科 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、NICU 入院児の生体情報の揺らぎから、痛みが抑制する成分を抽出し、苦痛の定量につなげ、また、吸痰や身体抑制などの持続する苦痛の定量をも目指す。フェーズ 1 では COVID-19 感染症の影響で研究進捗に遅延が生じたが、挽回を図り、新生児の痛みやストレスを評価しうるシステム構築に果敢にチャレンジして成果が得られつつあり、今後の成果が期待できる。フェーズ 2 では、様々なモニタリングの試みを計画しており、確実な実験検証を行うことで、本題の痛みとストレスの可視化に繋げることが期待される。今後の研究進捗により、破壊的イノベーションに繋がる成果が生まれる可能性に期待する。

以上